2020 年度　都市計画演習　2 班　最終レポート

サークルから消えた１年生

その謎を解明するため我々はアマゾンの奥地へと向かった　そこで目にしたものとは

班長	廣谷泰斗
副班長	原田貴文
渉外	松本太郎
記録	谷口渚
接続	平川沙和
担当教員	甲斐田直子
TA	御手洗陽

目次

第 1 章　はじめに …… 3
1.1　背景 …… 4
1.2　目的 …… 4
第 2 章　予備調査 …… 5
2.1　予備調査概要 …… 6
2.1.1　各団体の SNS 調査 …… 6
2.1.2　学生ヒアリング …… 6
2.1.3　学生生活課ヒアリング …… 6
2.2　予備調査結果 …… 6
2.2.1　各団体の SNS 調査・学生ヒアリング結果 …… 6
2.2.2　学生生活課ヒアリング結果 …… 8
第 3 章　本調査 …… １０
3.1　1、2 年生向けアンケート調査概要 …… １１
3.2　1、2 年生向けアンケート結果・考察 …… １１
3.3　部活・サークル向けアンケート調査概要 …… １７
3.4　部活・サークル向けアンケート結果・考察 …… １７
第 4 章　提案 …… ２０
4.1　提案１：バーチャル筑波大学 …… ２１
4.2　提案 2：合同オンライン新歓 …… ２１
4.3　提案 3：対面新歓の規制緩和 …… ２２
参考文献 …… ２３
謝辞 …… ２４
付録 …… ２５

図表リスト

《図》

図 1. サークル加入状況（コロナ期）(p.12)
図 2. サークル加入状況（例年）(p.12)
図 3. 1 年生と 2 年生の団体認知時期の比較(p.12)
図 4. 各月ごとの団体加入時期(p.13)
図 5. きっかけの違い（コロナ期と例年）(p.13)
図 6. きっかけの違い（対面新歓とオンライン新歓）(p.14)
図 7. 対面新歓による加入の決め手(p.14)
図 8. オンライン新歓による加入の決め手(p.14)
図 9. 団体活動に対する満足度の変化（1 年生）(p.15)
図 10. 団体活動に対する満足度の変化（2 年生）(p.16)
図 11. 加入の決め手別満足度(p.16)
図 12. 団体構成人数と新入生加入数の関係(p.17)
図 13. オンライン新歓参加者数と加入者数の相関(p.18)
図 14. 対面での早期新歓を行った団体(p.18)

《表》

表 1. 体育会部活時系列表(p.7)
表 2. 体育会同好会時系列表(p.7)
表 3. 文化系・芸術系サークル時系列表(p.8)
表 4. 一般団体時系列表(p.8)

第１章　はじめに

1.1　背景

世界中が新型コロナウイルスの感染拡大に振り回された 2020 年。それは日本の大学生にとっても例外ではなかった。授業のオンライン化、大学への入構禁止、アルバイト先の休業、不要不急の外出自粛――。日常生活にかかる多くの制約に我々大学生は息苦しさを感じていた。しかしながら、大学生といってもひとくくりにすることはできない。特に、2020 年度入学の 1 年生にとっては、思い描いていた大学生活とは程遠いものであったに違いない。前述の制約によって友達ができないという 1 年生の声を耳にしていた我々は、これからの with コロナ時代において、新入生が様々な制約がある中でも大学で新たな人間関係を構築できるような環境が必要だと考えた。そのために重要な場となるのがサークル・部活動である。サークル・部活動は学生生活の中心となる要素の一つであり、他学類の同級生・先輩との人脈を広げられる貴重な場である。しかし、今年はサークル・部活動の活動自粛により、1 年生にはその貴重な場が数か月間断たれることになった。また、その活動自粛は新入生を獲得できないサークル・部活動を団体存続の危機に立たせることとなった。そこで我々は with コロナ時代において新たな新歓の形態を作ることが重要な課題であると考えた。

1.2　目的

新たな新歓の形態を探るべく、我々は 3 つの目的を設定した。1 つ目は、対面新歓とオンライン新歓を融合させた新歓の仕組みを考えるということだ。コロナ時代においても実現可能な対面での新歓、オンラインだからこそできる新歓を組み合わせることでより新入生に団体の魅力が伝えられるような仕組みを作りたいと考えた。2 つ目は、新入生がサークル・部活動を知ることができ、サークル・部活動側も新入生を獲得できるような、両者 win-win となる具体的な新歓の方法を考えることだ。3 つ目は、大学に対して新歓への対応策を提案することだ。今年の新歓では各団体の足並みがそろっておらず、対面新歓を自粛する団体があった一方で、対面での新歓をひそかに行い、新入生を獲得した団体も存在した。そのような不平等をなくすためには大学から新歓へ何らかの対応をしていただくことが理想だと考えた。よってどのような対応が必要かを考案することにした。

第 2 章　予備調査

2.1　予備調査概要

先述した目的のためには、まず実態の把握が必要であると考えた。今年度どのような新歓が行われたのか以下の三つの方法で予備調査を行った。

2.1.1　各団体の SNS 調査

今年度は新型コロナウイルスの影響でオンライン中心の新歓が行われた。その際、ZOOM 等が多く利用されていたが、筑波大学では特に Twitter が利用されていた。そのため各団体の公式 Twitter を調査し、活動状況、新歓活動の収集を行い、時系列ごとに並べた。その際、筑波大学のサークルを所属組織・活動内容から「体育会部活」「体育会同好会」「芸術系サークル」「文化系サークル」「一般体育」「一般芸術」「一般文化」に分類して行った。

2.1.2　学生ヒアリング

新型コロナウイルスの影響で、筑波大学では活動自粛要請が出されている状況が続いていた。しかし、ディズニーランドなどのテーマパークの営業再開、他大学の活動再開など少しずつ世の中が動いてくると、その不安と焦りから少しずつ対面での活動を取り入れていたのではないかと予想した。そのような SNS では公開できない各団体の活動をヒアリングにて調査し、時系列ごとに並べた。SNS 調査同様、筑波大学のサークルを所属組織・活動内容から「体育会部活」「体育会同好会」「芸術系サークル」「文化系サークル」「一般体育」「一般芸術」「一般文化」に分類して行った。

2.1.3　学生生活課ヒアリング

大学側は、新型コロナウイルスに対して、様々な対策を行っていたが、学生側の活動を大きく制限するものもなかにはあった。また、小中高校などとも制限の度数が大きく異なっていた。そのため、大学側がどのような意図で対策を講じたのか、どのような事情があったのかを学生生活課にヒアリングを行った。質問内容については付録 4 に添付。

2.2　予備調査結果

先述した各団体の SNS 調査と学生ヒアリングの結果をまとめた時系列表、及び学生生活課ヒアリングの結果を記述する。

2.2.1　各団体の SNS 調査・学生ヒアリング結果

以下、まとめた時系列表及びその結果を記載する。なお、調査の結果、内容の類似性から先述した 7 分類を「体育会部活」「体育会同好会」「文化系・芸術系サークル」「一般団

体」の 4 分類に分類し直し、それぞれ代表的なものを記載する。体育会部活は、最も早い 8 月に活動再開しているが、それまでの期間は SNS 上でスタッフの募集やメンバーの紹介などはしたものの、他団体で見られるオンライン新歓などの新歓は行っていなかった。それに対し、体育会同好会は 9 月の活動再開までの間、SNS を頻繁に更新したり、オンライン新歓を行ったりするなど活発な新歓を行っていた。文化系・芸術系サークルと一般団体は、活動再開が 10 月と遅く、その焦りからか SNS では公開できない対面での新歓を行っていたことがヒアリングにて分かった。なお、活動再開時期のズレは、体育会部活や体育会同好会は大会が控えており、それによって早く活動再開の申請が早く受理されたためである。

日付	活動内容
4/7	活動停止
4/17	ツイッターでスタッフ募集
5/10	筑波大学開催の体育会合同オンライン新歓に参加（zoom）
8/12	活動再開
8/14	公式ブログにて新入生紹介

表 1　体育会部活時系列表

日付	活動内容
3/17	オンライン新歓
3/18	新歓 PV 公開 新歓用ブログ連載開始
4/1	活動停止
4/29	メンバー紹介開始
5/10	筑波大学開催の体育会合同オンライン新歓に参加（zoom）
5/17	オンライン新歓
6/14	オンライン新歓
6/29	女性限定オンライン新歓
9/1	活動再開(火曜以外)
9/2	1 年生が練習に参加
9/15	対面新歓開催

表 2　体育会同好会時系列表

日付	活動内容
4/1	活動休止
4/11	自主練開始
4/26	オンライン新歓祭参加
4/28	仮入団開始
5/14	オンライン新歓
5/19	他サークルと合同オンライン新歓
6/1	本入団開始
6/15	新入生オンライン練習参加
6/21	オンラインボードゲーム会
7/18	6 人以下で会食
8/1	ご飯会やイベント
9/25	1, 2 年でご飯会
10/22	対面練習開始

表 2　文化系・芸術系サークル時系列表

日付	活動内容
4/8	活動休止
4/26	メンバー紹介
5/24	オンライン新歓
5/31	オンライン新歓
6/3	活動再開
6/13	活動休止
6/15	自主練開始
7/29	新入生の住んでいる地域調査
8/6	1 年生とご飯会
	1 年生が自主練に参加
10/3	活動再開

表 1　一般団体時系列表

2.2.2　学生生活課ヒアリング結果

学生生活課学生支援チームの方にヒアリングを行った。学生支援チームの方々には当初30 分を予定していたところ、1 時間半ものお時間を割いていただき、貴重なお話を聞くことが出来た。以下、ヒアリングの結果を示す。

1.　大学が抱える事情

ヒアリングによって、大学ならではの特別な事情が 2 つ見られた。 1 つ目は大学の授業と課外活動は別物である、ということである。高校までは授業と部活動はともに学校の管理下で行われ、その責任は学校に帰属する。同様に、大学は授業と部活動などの体育会系、芸術系、文化系団体は大学の管轄となる一方で、一般サークルは学生が運営する団体のため、その活動に学生が責任をもつことになる。つまり、サークルでクラスターが発生した場合、そのサークルの学生が責任をとることになり、学生個人が誹謗中傷に晒されることになってしまう。2 つ目は大学生の感染リスクの高さである。高校生までは行動範囲が比較的限られており、接触者数を抑えられることから感染リスクが低くなる。一方で全

国から学生が集まる筑波大学は感染源が日本全国まで及び、移動範囲が非常に広いため、接触者数が未知数で、感染リスクが非常に高いと判断された。大学は学生の感染を防ぐことだけを考えているのではなく、友人と会う機会や友達を作る機会を作ってあげたいと思いながらも、クラスターが発生した場合や、 それによって学生が誹謗中傷にさらされることを考えると、安易な決定は出来なかったと言える。

2. 筑波大学の特別な事情

サークル活動の再開は 10 月からであったが、体育会の部活動は 8 月に活動再開をなった。この理由は、体育専門学群生が大会の結果や成績によって選手として企業やプロチームに進む予定の学生が在籍しているからということである。大学は、部活動が彼らのキャリアに直結する可能性が十分にあると判断し、特例として 8 月に活動再開願を受け付けまた。これらは審査会を経て、ヒアリング時点で 40 団体、65 件が受理されている。

3. 様々な声への大学の対応策

大学がどのような対応を行っているかについてもお聞きした。例えば在学生のサークル活動継続への不安の声に対しては、文サ館、体サ館の解放を行うなど最低限の活動を許可した。他には、つくば市民から学生が公園にて大人数で遊んでいるという大学への苦情に対しては、虹の広場を開放して学生に運動の場を提供することで対応した。大学職員からの活動再開への不安の声に対しては、ガイドラインを作成してそれを基準とした安全対策の作成を促した。

4. オンライン新歓について

オンライン新歓について一部大学が禁止しているという声があったが、実際は大学は禁止しておらず、むしろ感染リスクがない中で新入生にとって先輩や同級生と関わりを作ることが出来るいい機会として推奨する気持ちだったとのことだった。また、今後のオンライン新歓の可能性として、大学側はオンライン新歓のサポートは行っていただけるかという質問に対しては、オンライン新歓の整備は大学ではなく全代会が主催して行っているものなので大学が主導して行うことはないが、要請があれば全力でサポートしたいとのことだった。

第 3 章　本調査

3.1　1、2 年生向けアンケート調査概要

3.1.1　1 年生向けアンケート

実施目的	コロナ期である 1 年生の加入率や課外活動への満足度の相違、参加した新歓形態の詳細を調査する
対象	筑波大学現 1 年生 99 名
有効回答数	99
方法	Microsoft Forms
実施期間	12/1～12/7

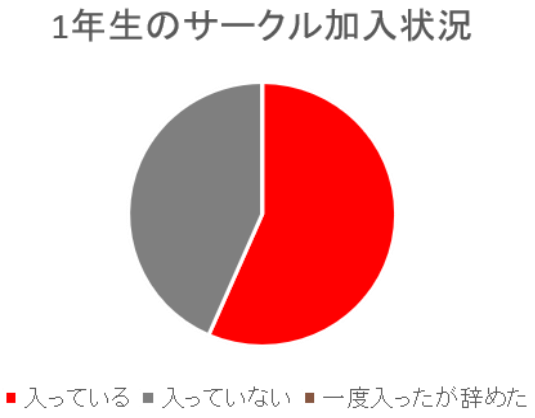
3.1.2　2 年生向けアンケート

実施目的	例年通りであった 2 年生の加入率や課外活動への満足度の相違、参加した新歓形態の詳細を調査する
対象	筑波大学現 2 年生 57 名
有効回答数	57
方法	Microsoft Forms
実施期間	12/1～12/7

3.2　1、2 年生向けアンケート結果・考察

(1)団体への加入状況
(2)加入のきっかけ・決め手
(3)満足度
の 3 つの観点から結果・考察を述べる。

（1）　団体への加入状況
《結果》



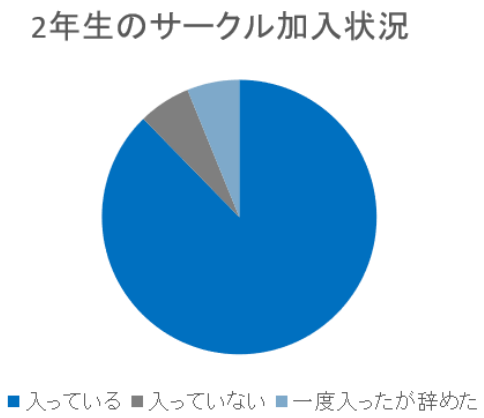


図 1 サークル加入状況（コロナ期）　　**図 2 サークル加入状況（例年）**

コロナ期と例年ではサークルの加入状況に大きな隔たりがある。

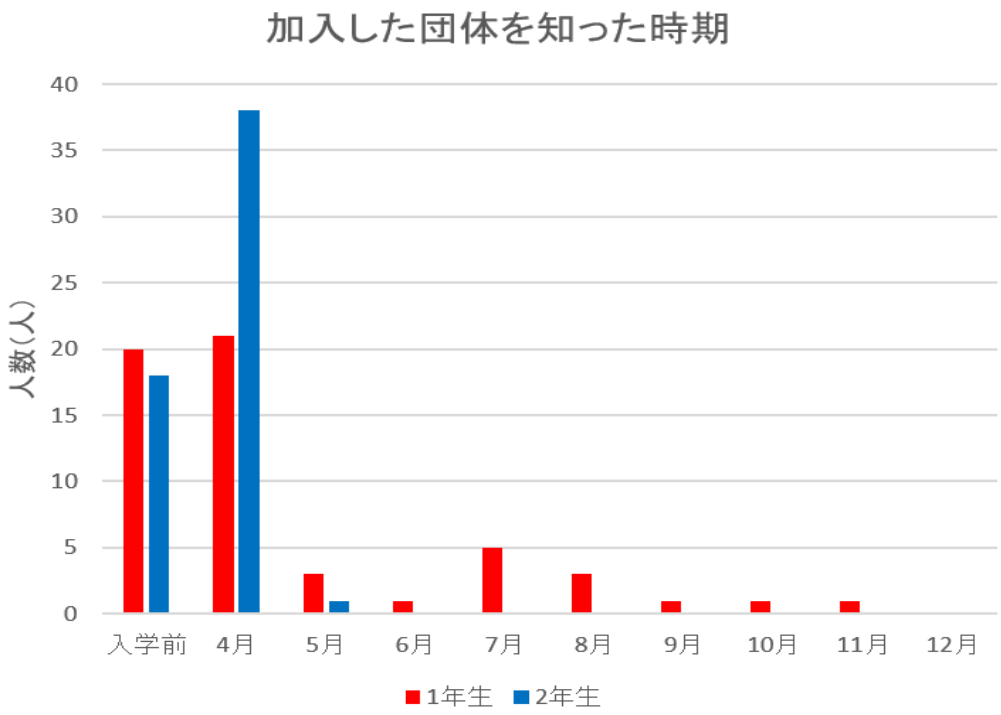


図 3　1 年生と 2 年生の団体認知時期の比較

例年通り行われていた 2 年生の新歓は 4 月以前に団体を認知しているケースがほとんどだったが、コロナ期である今年は 5 月以降の認知も一定数見られた。

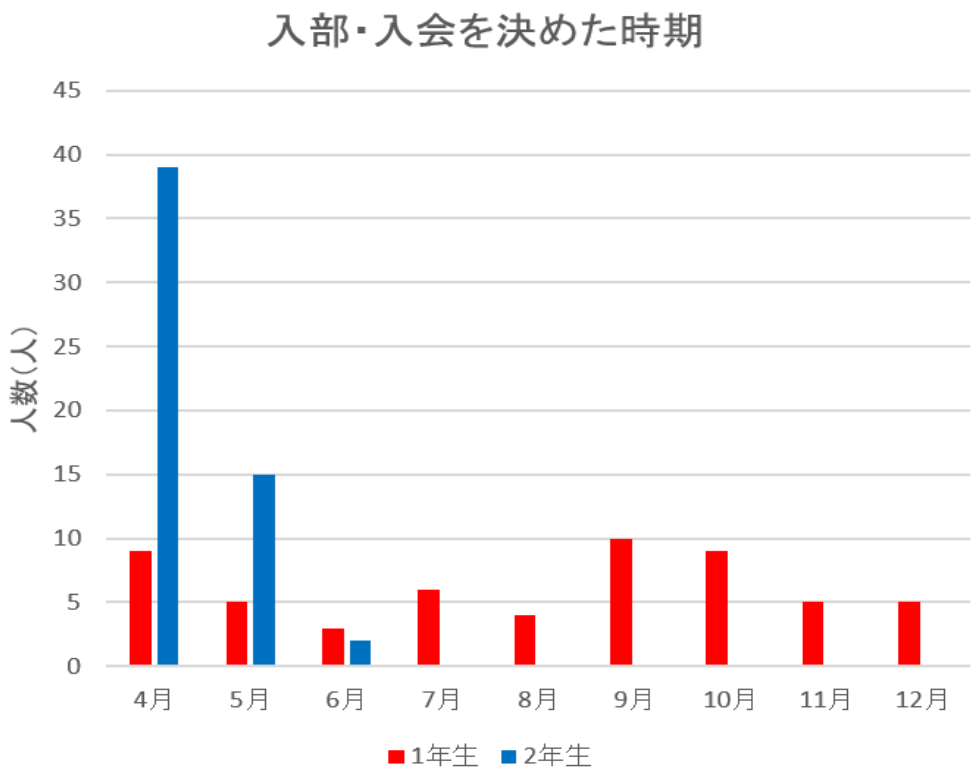


図 4 各月ごとの団体加入時期

認知時期と同様に加入時期も分布している。2 年生は 5 月以前にほとんどの人が団体に加入しているが、1 年生はと工程の時期に集中せず 1 年間を通して加入している。

《考察》

・1 年生はコロナウイルスの影響でサークル選びが難航している。

・サークルの認知時期が遅れたことが加入時期の遅れにつながっている

(2)加入のきっかけ・決め手

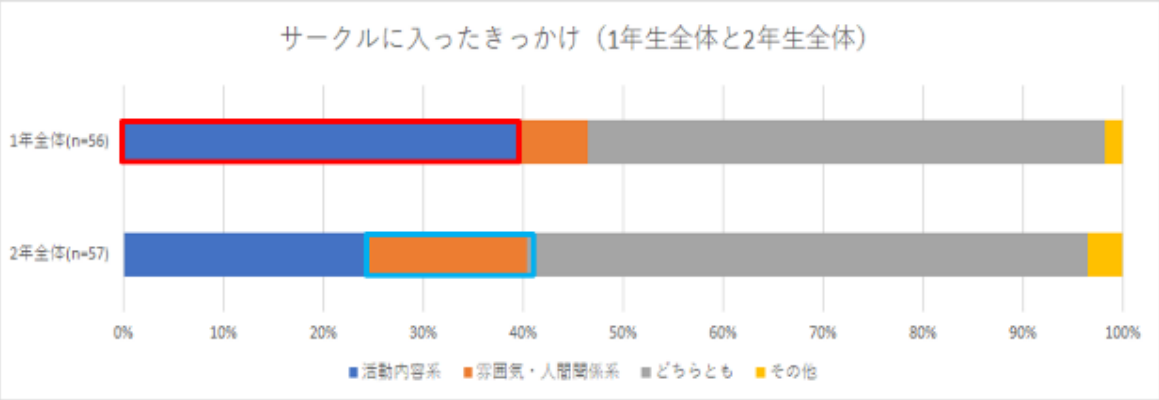


図 5 きっかけの違い（コロナ期と例年）

1 年生は活動内容で選んだ人が多く、2 年生は雰囲気・人間関係で選んだ人が多い。

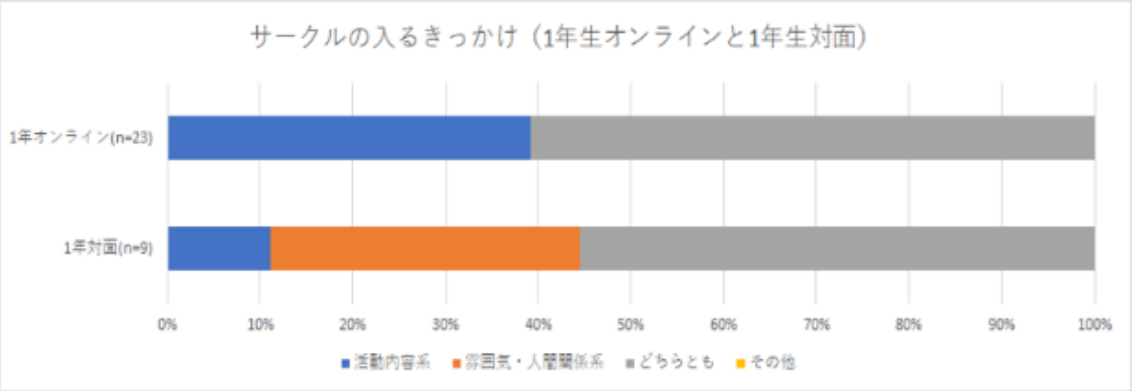


図 6 きっかけの違い（対面新歓とオンライン新歓）

オンライン新歓で決めた人は活動内容、対面新歓で決めた人は雰囲気・人間関係を中心に部活・サークルを選んでいる。

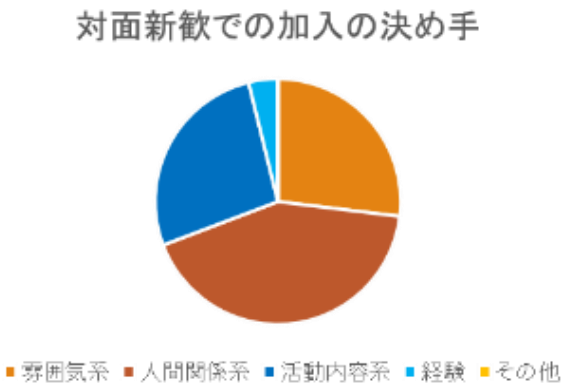


図 7 対面新歓による加入の決め手

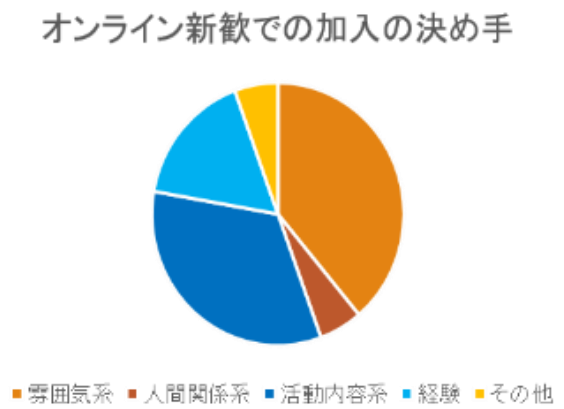


図 8 オンライン新歓による加入の決め手

対面新歓に参加した人は雰囲気・人間関係を重視しており、オンライン新歓に参加した人は活動内容系を重視していることが見て取れる。

※補足
サークルに加入したきっかけ・決め手を以下のように分類した。
雰囲気系・・・サークルの雰囲気
人間関係系・・・人数、男女比、先輩との友好関係、友人が入るから
活動内容系・・・活動内容に魅力を感じた
経験・・・中学・高校等で活動内容（競技）の経験があった

《考察》
・1 年生と 2 年生でサークルに入るきっかけが異なっていることから、例年と比べてサークルの選び方に変化があることがわかる。
・オンライン新歓ではサークルの雰囲気・人間関係が伝わりにくく、対面新歓では雰囲気・人間関係が伝えやすい。

(3)満足度
大学からの規制緩和前（9 月以前）と規制緩和後（10 月以降）で満足度に変化があったのかを調べる。

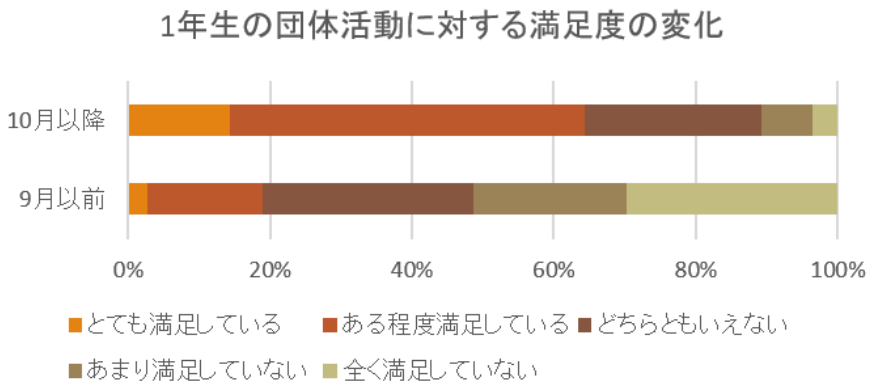


図 9 団体活動に対する満足度の変化（1 年生）

1 年生はとても満足している、ある程度満足していると回答した人が 10 月以降で大幅に増加した。

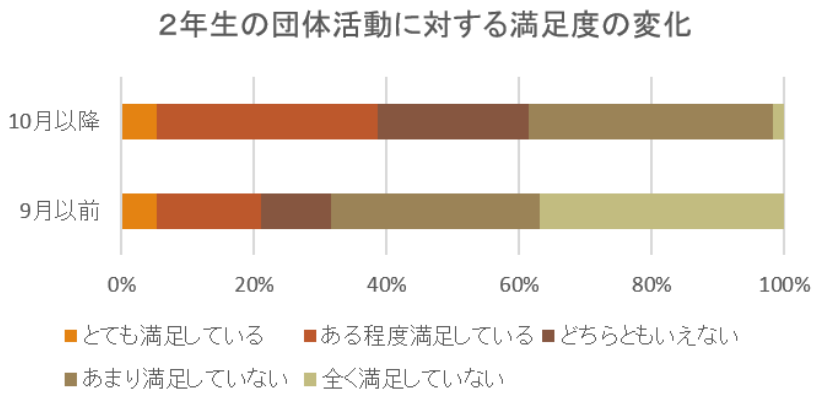


図 10 団体活動に対する満足度の変化（2 年生）

2 年生も 1 年生と同様にある程度満足していると回答した人が増加し、全く満足していないと回答した人が大幅に減少しているため、満足度は上昇していると言える。

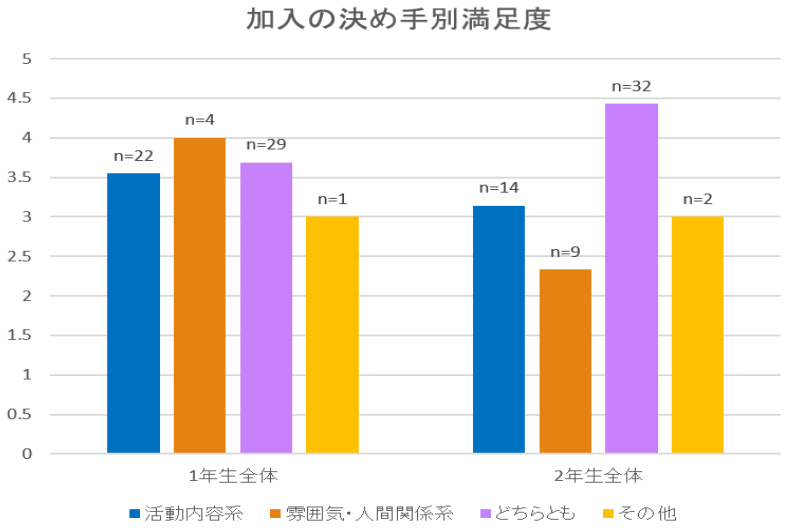


図 11 加入の決め手別満足度

2 年生全体（例年の新歓の参加者）は活動内容、雰囲気・人間関係のどちらともを加入の決め手とした人の満足度が高かった。

《考察》

・コロナ前の活動を知っているかどうかによって差は生まれるが、団体活動の活動再開によって満足度の向上が見込める。

・活動内容と雰囲気・人間関係のどちらかのみではなく、両方を見て選ぶことが構成員の満足度を維持することに繋がる。

3.3　部活・サークル向けアンケート調査概要

実施目的	コロナ期における部活・サークル活動の実態調査
対象	筑波大学が管轄している課外活動団体、一般学生団体の計 43 団体
有効回答数	42
方法	Microsoft Forms
実施期間	12/1～12/7

3.4　部活・サークル向けアンケート結果・考察

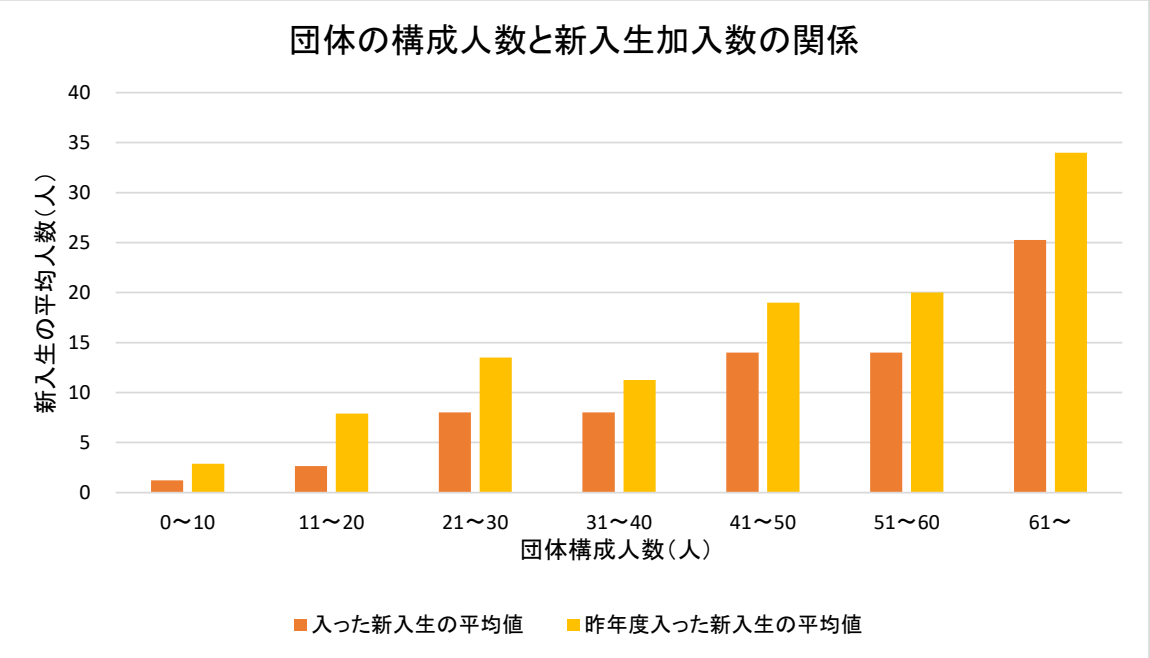


図 12 団体構成人数と新入生加入数の関係

例年通り、構成人数の多いサークルには多くの 1 年生が加入している。一方でどの構成人数帯でも例年よりも加入者数が減少している。

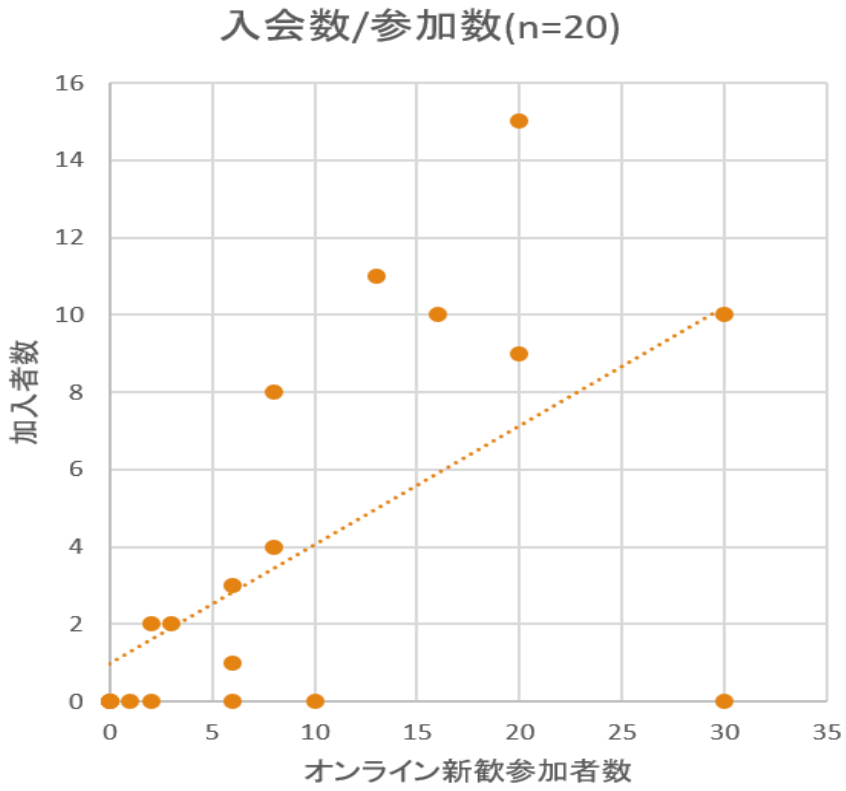


図 13 オンライン新歓参加者数と加入者数の相関

参加者数が多いほど加入者数も多い。相関係数は 0.521 なので中程度の相関があったと言える。

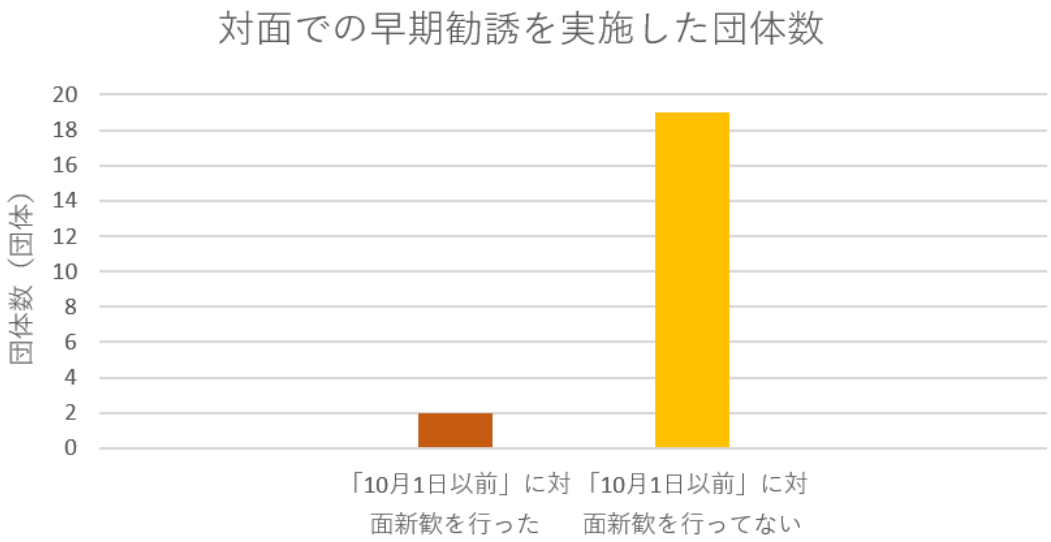


図 14 対面での早期新歓を行った団体

規制緩和前（10/1 以前）に対面新歓を行っていた団体は存在した。

《考察》

・オンライン新歓は例年の対面新歓同様に、新入生の加入を促す方法として効果がある。

・規制緩和前に対面新歓を実施していた団体もあったが感染者は確認されていない。

第 4 章　提案

4.1　提案 1 ：バーチャル筑波大学

今年度は入学式の中止、オンライン授業の実施により新入生が筑波大学に訪れる機会は激減した。そのようななかでも新入生が例年のように筑波大学全体を知ることができるように、バーチャル空間に筑波大学を再現したバーチャル筑波大学を提案する。

これは、2020 年度東京大学のオープンキャンパスにて実施された「バーチャル東大」を参考にした。「バーチャル東大」はバーチャル空間に東京大学のキャンパスを再現したものであり、「cluster（クラスター)」というアプリを利用して公開された。cluster は同名の会社によって開発されたバーチャル空間で容易にイベントの開催、交流を可能にするバーチャル SNS である。キャンバスを再現したモデルは、VR サークルに所属する学部生 3 人によって作られた。cluster では「東京大学社会連携推進課」という名前で公開しており、東京大学が管理していると思われえる。

これらを踏まえ「バーチャル筑波大学」では、有志の筑波大生を募ってモデルを作成してもらい、cluster によって新入生に公開をする。また、例年行われている新歓祭に近いものを体験してもらうために、NPC として部活やサークル団体を配置する。この NPC に話しかけるとその部活・サークルの団体紹介、新歓 HP や SNS へのリンクが表示されるようにし、新入生がより多くの部活・サークルを知ることができるようにする。なお、この内容は各サークルに作成を依頼する。また、バーチャルモデルについては新歓のみならず利用価値があるものであると思うので筑波大学の学生生活課に管理をお願いしたい。

このバーチャル筑波大学によって、コロナ下で実施が難しい大人数が集まる新歓祭に近いものを新入生が体験でき、部活・サークルを知るだけでなく、筑波大学全体の雰囲気を感じることができると考える。

4.2　提案 2：合同オンライン新歓

今年度新たに発生したオンライン新歓だが、新入生が自分に合った部活・サークルをなるべく見つけることができるように、ここでは種類ごとの部活・サークルが集まり行う合同オンライン新歓を提案する。

筑波大学では 5 月 10 日に体育会運動部・同好会が合同オンライン新歓を行った。これは、開始時刻前に参加する各団体が zoom の部屋を作成し、リンクを合同オンライン新歓運営の人に送る。新歓に参加する新入生は最初に体育会合同新歓という会議に参加し、今回参加している団体の短い紹介を受ける。その後前半・後半の二回に分けて気になる団体の新歓に参加するというものだった。新歓する側も、少しでも興味のある人が参加してくれるためやりやすく、一度に大人数を対象に新歓を行うことができる。また新入生側も体

育会に所属するほとんどすべての団体の紹介をみて新歓に参加することができるため興味のある団体を見つける可能性が高まる。前後半で 2 団体の新歓に参加することもできるため効率も上がる。

このように合同オンライン新歓は新歓をする側・される側両方にメリットがあるため、体育会だけでなくほかの団体でも行うことを勧めたい。具体的には「一般文化・芸術系」「文化・芸術系サークル」「体育会部活・同好会」の 3 つに分けることで興味のある団体と類似した団体の新歓に参加できるようにしたい。また、日時を分けることで様々な団体を見ることもできるように工夫したい。合同オンライン新歓を管理運営するために各団体の新歓委員を数人集めることで学生主体の新歓祭として扱うこともできる。

4.3　提案 3：対面新歓の規制緩和

対面新歓とオンライン新歓には越えられない壁があることが今回の調査で分かった。特に団体の雰囲気を知ってもらうために対面新歓が必要とも言える結果が出た。そのためここでは対面新歓の規制緩和策を提案する。

具体的には、オンライン新歓を実施し興味を持ってくれる新入生を探し、その中で「入りたい」「入ってみたいが自分に合うか不安」といった入る可能性の高い新入生を対象にして活動体験を目的とした対面新歓を行うものだ。少し興味がある、時間があれば行きたいなどの入る可能性のあまり高くない新入生に対してはオンライン新歓を続け、可能性が上がれば対面新歓に呼ぶ。毎回の対面新歓に参加する新入生の数に制限をかける事と、参加者は健康観察表の提出を求めることでコロナウイルス対策を行う。また、食事会やドライブなど感染リスクの高い対面新歓は禁止にし、行った対面新歓の記録を残すように団体に周知させる。これは陽性者が出た場合に誰が参加していたか、何をしたかが後から分かるようにする目的がある。

もちろんどの程度可能性があるかを見極めるのは各団体に任せてしまうため必要以上に対面新歓を行ってしまう危険性もある。一方で対面新歓を全面禁止にしてしまうと自分に合う団体を見つけにくくなってしまうため、最終的に対面新歓に参加することができるようにする。

参考文献

cluster. (日付不明). バーチャル SNS　cluster. 参照先: https://cluster.mu/

榎本光邦. (2019). 中途退学・休学をした大学生の精神的健康度の特徴に関する研究. 日心第 83 回大会. 参照日: 2020 年 10 月 18 日, 参照先: https://www.jstage.jst.go.jp/article/pacjpa/83/0/83_1A-080/_pdf

岩田考. (2014). 大学生の生活満足度の規定要因―全国 26 大学調査から―共同研究:「大学生」に関する総合的研究（II）.

佐々木俊一郎　山根承子　マルデワ・グジェゴシェ　布施匡章　藤本和則. (2018). 大学生の幸福度と学業に対する主観的評価：アンケート調査と学業データによる分析. 参照日: 2020 年 10 月 18 日, 参照先: https://www.jstage.jst.go.jp/article/seikatsukeizaigaku/47/0/47_83/_pdf/-char/ja

蔵元健太・菊池秀夫. (2006). 大学の組織とスポーツへの参加動機に関する研究：体育会運動部とスポーツ活動参加者の比較. 中京体育大学.

中岡千幸　中島正雄　長友周悟　小島奈々恵　松川春樹　佐藤静香　佐々木真理　吉武清　池田忠義. (2017). 東北大学における休学生の現状. 東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要. 参照日: 2020 年 10 月 18 日, 参照先: file:///C:/Users/81702/Downloads/2189-5945-2017-3-329.pdf

朝日新聞. (日付不明). 朝日新聞. オンライン授業、憤る学生. 参照先: https://www.asahi.com/articles/DA3S14575683.html

東京大学. (日付不明). 高校生のためのオープンキャンパス. 参照先: https://www.u-tokyo.ac.jp/opendays/entry.html#virtual_UT

内閣府　政策統括官. (2020). 「満足度・生活の質に関する調査」に関する第 4 次報告書. 参照日: 2020 年 10 月 18 日, 参照先: https://www5.cao.go.jp/keizai2/manzoku/pdf/report04.pdf

美那子　徳田智代武富. (2017). 友人関係と家族関係が大学生の対人的疎外感に及ぼす影響 : 対人的疎外感の主観的幸福感への影響を含めた検討. 久留米大学大学院心理学研究科. 参照日: 2020 年 10 月 18 日, 参照先: file:///C:/Users/81702/Downloads/shinri16_11-16.pdf

落合良行　佐藤有耕. (1996). 青年期における友達とのつきあい方の発達的変化. Japanese Journal of Educational Psychology. 参照日: 2020 年 10 月 18 日, 参照先: https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjep1953/44/1/44_55/_pdf/-char/ja

謝辞

本演習にご協力いただいた皆様に班員一同、心より感謝申し上げます。

学生生活課へのヒアリング
　学生生活課支援チーム　大手昇一先生

アンケート調査
　筑波大学生の皆様

担当教員
　甲斐田直子先生

TA
　御手洗陽さん

付録

付録１　１年生向けアンケート

社会工学類の都市計画演習という授業の６班と 2 班です。私たちは授業において部活・サークルの実態と１年生の動向について調査をしています。
このアンケートの結果は授業内の演習によって統計的に処理するもので、その他用途には使用いたしません。
回答時間は５～10 分ほどです。ご協力お願いいたします。
都市計画演習６班・2 班

1.　所属学類を教えてください（自由記述）

2.居住環境を教えてください
　①一人暮らし　②実家や親族の家暮らし

3. 最も活発に参加している団体１つについてお答えください。部活やサークルに入っていますか？
　①入っている　②入っていない　③一度入ったが、やめた

4.1　3.で入っていると答えた方へ
　4.1.1 入っている部活・サークル名を教えてください(自由記述)

　4.1.2　その部活・サークルを知ったのはいつ頃ですか
　　①4 月　②5 月　③6 月　④7 月　⑤8 月　⑥9 月　⑦10 月　⑧11 月

　4.1.3 いつごろ入部/入会しましたか
　　①4 月　②5 月　③6 月　④7 月　⑤8 月　⑥9 月　⑦10 月　⑧11 月

　4.1.4 その部活・サークルを何で知りましたか？（複数選択可）
　　①Twitter　②Instagram　③YouTube　④学生団体紹介誌
　　⑤筑波大学新歓 Web　⑥友達　⑦先輩から　⑧その他(記述)

今年度はサークル活動が制限されている中で、Zoom や Teams を利用したオンライン新歓という新たな形での新歓が発生しました。

4.1.5 参加した新歓の形態は以下のうちどれですか（複数選択可）
①対面新歓　②オンライン新歓　④SNS でのやり取り
⑤新歓に参加しなかった　⑥その他（記述）

4.2　4.1.5 で①と答えた方へ
4.2.1 対面新歓ではどのようことをしましたか（10 月 1 日以前）（複数選択可）
①ご飯会　②練習会　③企画（ドライブ等）　④その他（記述）

4.3　4.1.5 で②と答えた方へ
4.3.1　オンライン新歓ではどのようなことをしましたか（複数選択可）
①雑談　②大学生活に関しての悩み相談　③サークル選びに関しての悩み相談
④活動見学・体験　⑤口頭での活動紹介　⑥動画での活動紹介
⑦簡単なゲーム（しりとりなど）⑧連絡先（Line など）の交換　⑨その他

4.4 その新歓に参加したきっかけは以下のうちどれですか
①Twitter　②Instagram　③友人　④先輩　⑤入学前から知っていた
⑥その他（記述）

4.5 その部活やサークルに入った決め手は何ですか（複数選択可）
①中学・高校等で経験があったため
②中学・高校等でやっていなかったが、新しく始めようと思ったから
③自分の趣味と部活やサークルの活動内容がマッチしていたから
④雰囲気がよかったから
⑤友人・先輩がその部活・サークルにいたから
⑥交友関係や人間関係を広げるため
⑦その他(記述)
⑧特になし

4.6 その部活やサークルに入る決め手になった新歓は何ですか(一つ)
①対面新歓　②オンライン新歓　③SNS でのやり取り　④新歓に参加せずに決めた

4.6 で①「対面新歓」と答えた方へ
4.6.1 その部活・サークルに入った決め手は何ですか（複数選択可）

①サークルの雰囲気　②人数　③男女比　④活動内容に魅力を感じた
⑤先輩との友好関係　⑥友人が入るから
⑦中学・高校等での活動内容（競技等）の経験があった

4.6 で②「オンライン新歓」と答えた方へ
4.6.2 その部活・サークルに入った決め手は何ですか(複数選択可)
①サークルの雰囲気　②人数　③男女比　④活動内容に魅力を感じた
⑤先輩との友好関係　⑥友人が入るから　⑦中学・高校等での経験
⑧対面新歓に参加できないから

4.6 で③「SNS でのやり取り」と答えた方へ
4.6.3 その部活・サークルに入った決め手は何ですか
①メンバー紹介が好印象だった　②PV に惹かれた　③対応が丁寧だった
④対面新歓に参加できないから　⑤オンライン新歓に参加できないから

4.7　もし活動規制がなく、自由に新歓に参加できる状況であったならどの新歓に参加したいと思いましたか
①対面新歓　②オンライン新歓　③両方

4.8 現在どのように部活・サークル活動をしていますか(複数選択可)
①対面でのミーティング　②対面での練習
③オンラインでのミーティングや練習　④自主練　⑤活動なし

4.9 規制緩和前の 9 月以前の部活・サークル活動に満足していますか
①全くしていない　②あまりしていない　③どちらともいえない
④ある程度していない　⑤とてもしている

4.10 規制緩和がなされた 10 月以降の部活・サークル活動に満足していますか
①全くしていない　②あまりしていない　③どちらともいえない
④ある程度していない　⑤とてもしている

4.11 部活・サークルで先輩との交流ができていますか
①全くできていない　②あまりできていない　③どちらともいえない
④ある程度できている　⑤十分できている

4.12 部活・サークルで同級生との交流ができていますか

①全くできていない　②あまりできていない　③どちらともいえない

④ある程度できている　⑤十分できている

4.13 部活・サークルの仕組みや文化にはどれぐらい慣れましたか

①全く慣れていない　②あまり慣れていない　③どちらともいえない

④まあまあ慣れた　⑤十分慣れた

5.1 現時点で交流のある人たちを次の中から選んでください(複数選択可)

①学類の知り合い　②他学類の知り合い　③先輩

④部活・サークルの知り合い　⑤高校の知り合い　⑥その他(記述)

5.1.1 交流のきっかけとなった手段を以下からお選びください（複数選択可）

①Twitter　②Instagram　③授業で会った　④部活・サークルで会った

⑤その他(記述)　⑥ない

6.1 過去に所属していたすべての団体についてお答えください。一度入会したが辞めた部活・サークルはありますか？

①ある　②ない

6.1 で①「ある」と答えた方へ

6.1.1 辞めた理由は何ですか

①公式の新歓があるまで待っている

②入る時期が分からなかった

③活動内容がわからなかった

④サークルの雰囲気がわからなかった

⑤一緒に入る知り合いがいなかった

⑥今のコミュニティで満足している

⑦大学の課題が忙しい

⑧感染対策のため

⑨アルバイトなどの日常生活が忙しい

⑩その他（記述）

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

3.で「入っていない」「一度入ったがやめた」と答えた方へ

4.現在部活・サークルに入ろうと思っていますか
①思っている　②思っていない

5.今年度はサークル活動が制限されている中で、Zoom や Teams を利用したオンライン新歓という新たな形での新歓が発生しました。新歓には参加しましたか。
①対面新歓に参加した　②オンライン新歓に参加した　③新歓の存在を知らなかった

6.現在部活・サークルに入っていない理由は何ですか（複数選択可）
①公式の新歓があるまで待っている
②入る時期が分からなかった
③活動内容がわからなかった
④サークルの雰囲気がわからなかった
⑤一緒に入る知り合いがいなかった
⑥今のコミュニティで満足している
⑦大学の課題が忙しい
⑧感染対策のため
⑨アルバイトなどの日常生活が忙しい
⑩その他（記述）

7.筑波大の同級生や先輩との交流ができていますか
①全くできていない　②あまりできていない　③どちらともいえない
④ある程度できている　⑤十分できている

8.1 現時点で交流のある人たちを次の中から選んでください(複数選択可)
①学類の知り合い　②他学類の知り合い　③先輩
④部活・サークルの知り合い　⑤高校の知り合い　⑥その他(記述)

8.1.1 交流のきっかけとなった手段を以下からお選びください（複数選択可）
①Twitter　②Instagram　③授業で会った
④部活・サークルで会った　⑤その他(記述)　⑥ない

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

付録２　２年生向けのアンケート

社会工学類の都市計画演習という授業の６班と ２ 班です。私たちは授業において部活・サークルの実態と２年生の動向について調査をしています。
このアンケートの結果は授業内の演習によって統計的に処理するもので、その他用途には使用いたしません。
回答時間は５～10 分ほどです。ご協力お願いいたします。
都市計画演習６班・２班

1. 性別をお答えください
　①男　②女　③どちらでもない　④答えたくない

2. 所属学類を教えてください（自由記述）

3. 居住環境を教えてください
　①一人暮らし　②実家や親族の家暮らし　③友人とのルームシェア

4. 最も活発に参加している団体１つについてお答えください。部活やサークルに入っていますか？
　①入っている　②入っていない　③一度入ったが、やめた

5.1　3.で入っていると答えた方へ
　5.1.1 入っている部活・サークル名を教えてください(自由記述)

　5.1.2 その部活・サークルを知ったのは１年生のいつ頃ですか
　①　入学以前　②4 月　③5 月　④6 月　⑤7 月　⑥8 月　⑦9 月　⑧10 月　⑨11 月
　⑩12 月 ⑪1 月　⑫2 月　⑬3 月　⑭2 年生になってから知った

　5.1.3　１年生のいつごろ入部/入会しましたか
　①4 月　②5 月　③6 月　④7 月　⑤8 月　⑥9 月　⑦10 月　⑧11 月　⑨12 月
　⑩1 月　⑪2 月　⑫3 月　⑬2 年生になってから知った

　5.1.4 その部活・サークルを何で知りましたか？（複数選択可）
　①Twitter　②Instagram　③YouTube　④学生団体紹介誌

⑤新歓祭委員会のホームページ　⑥ビラ　⑦ポスター　⑧友達　⑨先輩から
⑩その他(記述)

5.1.4 その部活やサークルに入った決め手は何ですか（複数選択可）
①中学・高校等で経験があったため
②中学・高校等でやっていなかったが、新しく始めようと思ったから
③自分の趣味と部活やサークルの活動内容がマッチしていたから
④雰囲気がよかったから
⑤友人・先輩がその部活・サークルにいたから
⑥交友関係や人間関係を広げるため
⑦その他(記述)
⑧人数や男女比
⑨特になし

5.1.5 現在どのように部活・サークル活動をしていますか(複数選択可)
①対面でのミーティング　②対面での練習
③オンラインでのミーティングや練習　④自主練　⑤活動なし

5.1.6 規制緩和前の 9 月以前の部活・サークル活動に満足していますか
①全くしていない　②あまりしていない　③どちらともいえない
④ある程度していない　⑤とてもしている

5.1.7 規制緩和がなされた 10 月以降の部活・サークル活動に満足していますか
①全くしていない　②あまりしていない　③どちらともいえない
④ある程度していない　⑤とてもしている

5.1.8 部活・サークルで 1 年生との交流ができていますか
①全くできていない　②あまりできていない　③どちらともいえない
④ある程度できている　⑤十分できている

5.1.9 部活・サークルで同級生との交流ができていますか
①全くできていない　②あまりできていない　③どちらともいえない
④ある程度できている　⑤十分できている

5.1.10 現時点で交流のある人たちを次の中から選んでください(複数選択可)
①学類の知り合い　②他学類の知り合い　③先輩　④1 年生

⑤部活・サークルの知り合い　⑥高校の知り合い　⑦その他(記述)

5.1.11 交流のきっかけとなった手段を以下からお選びください（複数選択可）
①Twitter　②Instagram　③授業で会った　④部活・サークルで会った
⑤その他(記述)　⑥ない

6. 過去に所属していたすべての団体についてお答えください。一度入会したが辞めた部活・サークルはありますか？
①ある　②ない

6. で①「ある」と答えた方へ
6.1 辞めた理由は何ですか
①活動内容が想像と違っていた
②サークルの雰囲気があわなかった
③他のコミュニティで満足した
④人間関係が悪化した
⑤肉体的に活動ができなくなった
⑥大学の課題が忙しい
⑦アルバイトなどの日常生活が忙しかった
⑧その他（記述）

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

3.で「入っていない」「一度入ったがやめた」と答えた方へ

4. 1 年生のときに部活・サークルに入らなかった理由は何ですか（複数選択可）
①活動内容がわからなかった
②サークルの雰囲気がわからなかった
③一緒に入る知り合いがいなかった
④今のコミュニティで満足している
⑤大学の課題が忙しい
⑥アルバイトなどの日常生活が忙しい
⑦その他（記述）

5. 今年度はサークル活動が制限されている中で、Zoom や Teams を利用したオンライン新歓という新たな形での新歓が発生しました。今年度の新歓には参加しましたか。

①対面新歓に参加した　②オンライン新歓に参加した
③新歓の存在は知っていたが参加しなかった　④新歓の存在を知らなかった

6. 筑波大の同級生や先輩との交流ができていますか
①全くできていない　②あまりできていない　③どちらともいえない
④ある程度できている　⑤十分できている

7. 筑波大の 1 年生との交流ができていますか
①全くできていない　②あまりできていない　③どちらともいえない
④ある程度できている　⑤十分できている

8. 現時点で交流のある人たちを次の中から選んでください(複数選択可)
①学類の知り合い　②他学類の知り合い　③先輩　④1 年生
⑤部活・サークルの知り合い　⑥高校の知り合い　⑦誰とも交流がない
⑧その他(記述)

9. 交流のきっかけとなった手段を以下からお選びください（複数選択可)
①Twitter　②Instagram　③授業で会った
④部活・サークルで会った　⑤その他(記述)　⑥ない

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

付録３　サークル向けアンケート

私たちは社会工学類開設の都市計画演習という授業の６班と ２ 班です。私たちはこの授業において部活・サークルの実態と１年生の動向について調査をしています。下のアンケートに答えていただけると幸いです。
当アンケートは匿名で調査され、団体が特定されることはありません。また、この授業以外の用途での使用はいたしません。
回答時間は５～10 分ほどです。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力お願いいたします。
都市計画演習６班・２班

1.部活・サークル名を教えてください（自由記述）

2.主な活動場所は屋外と屋内のどちらですか
①屋外　②屋内

3.構成員の数は何人ですか。学年ごとにお書きください。
（調査に関係するため、２年次１年生は除外してください）
①１年生　②２年生　③３年生　④４年生　⑤５,６年生　⑥大学院生

4.1 団体として現在対面活動をしていますか　している/していない

4.1 で「している」と答えた方へ
4.1.1 いつ対面活動を再開しましたか
①４月　②５月　③６月　④７月　⑤８月　⑥９月　⑦10 月　⑧11 月

4.1.2 現在どのように部活・サークル活動をしていますか(複数選択可)
①対面でのミーティング
②対面での練習
③Zoom などを使用したオンラインでのミーティングや練習
④自主練

4.1.3「していない」と答えた方へ
対面活動をしていない理由は何ですか（複数選択可）
①人が集まらないから
②大学のガイドラインに基づいた感染対策が難しいから

③活動場所が確保できないから
④大学からの申請許可が下りていないから
⑤その他（記述）

5.1　4.1 で「している」と答えた団体は『対面再開前』の、※２で「していない」と答えた団体は『現在』の活動形態を以下から選んでください
①オンライン
②活動なし
③その他

5.1.1「①　オンライン」と答えた方へ
→ オンラインでの活動と昨年度の活動とを比べた活動内容の変化を以下から選んでください
①全く異なる内容にシフトした
②異なる活動をしていることが多い
③昨年度と同じ活動と昨年度とは異なる活動と半々
④昨年度と同じ活動をしていることが多い

5.1.2「②　活動なし」と答えた方へ
→ 活動ができなかった理由としてあげられるものを以下から選んでください
（複数選択可）
①やれることがなかった
②前までオンラインで活動していたが、やることがなくなったから
③参加者の都合が合わず集まれないから
④面倒だから
⑤その他(記述)

6.　10 月の規制緩和後の活動と昨年度と比べた活動内容の変化を以下から選んでください
①全く異なる活動をしている
②違う活動をしていることが多い
③昨年度と同じ活動と異なる活動と半々
④昨年度と同じ活動をしていることが多い
⑤昨年度と全く変わらない

7.1 新歓をしましたか

①した　②していない

7.1 でしたと答えた方へ

7.1.1 新歓に用いた SNS を、以下の選択肢から選んでください（複数選択可）

① Twitter

② Instagram

③ YouTube

④ その他(記述)

⑤ 新歓に SNS を用いていない

7.1.2 新歓の内容を以下の選択肢から選んでください

①体験入部・入会（対面）

②体験入部・入会（オンライン）

③ご飯会

④企画

⑤雑談

7.1.3 1 年生の入会・入部数に関して新歓の効果はありましたか

①全く効果がなかった

②あまり効果がなかった

③どちらともいえない

④ある程度効果があった

⑤とても効果があった

8. 入った新入生の数を教えてください（現時点で辞めた人も含む）　（記述）

8.1. 昨年度新歓時に団体に加入した新入生の数を教えてください(現時点でやめた人も含む)（自由記述）

9. 当部活・サークルに在籍している 1 年生との交流はできていますか

①全くできていない

②あまりできていない

③どちらともいえない

④ある程度できている

⑤とてもできている

10.オンラインで 1 年生と交流しましたか　はい　いいえ

10.ではいと答えた方へ

10.1 オンライン新歓の回数はどのくらいでしたか（10 月 1 日以前)。

①0 回

②1，2 回

③3〜5 回

④6〜10 回

⑤それ以上

10.2 オンライン新歓に参加した累計の人数を教えてください。(10 月 1 日以前)。

①0〜5 人

②6〜10 人

③11〜15 人

④16〜20 人

⑤それ以上

10.3 オンライン新歓で加入を宣言した新入生は累計で何人いましたか
(10 月 1 日以前)。

①0~5 人

②6~10 人

③11~15 人

④16~20 人

⑤それ以上

10.4 オンライン新歓で行った交流方法をすべて教えてください（10 月 1 日以前)。
(複数選択可)

①雑談

②大学生活に関しての悩み相談

③サークル選びに関しての悩み相談

④活動見学・体験

⑤口頭での活動紹介

⑥動画での活動紹介

⑦簡単なゲーム（しりとりなど)

⑧連絡先（Line など）の交換

⑨その他

10.5 オンラインで 1 年生との交流において反応がよかった交流方法と理由は何ですか（複数選択可）

1雑談

①上級生が主体となって雑談を主導していたから

②1 年生が主体となって雑談を主導していたから

③話す内容が決まっていたから

④その他（自由記述）

2ご飯会

①上級生が主体となって雑談を主導していたから

②1 年生が主体となって雑談を主導していたから

③話す内容が決まっていたから

④その他（自由記述）

3活動見学

①活動内容を理解してもらえたから

②雰囲気を伝えられたから

③活動内容に興味を持ってもらえたから

④オンラインだったために活動見学しやすかったから

⑤その他（自由記述）

4企画

①内容が充実していたから

②企画に部活やサークルの独自性があったから

③その企画がオンラインに向いていたから

④その他（自由記述）

よろしければどのような企画を行ったか記述してください（自由記述）

5その他（自由記述）

6反応がよかった方法はない

10.6 オンラインで 1 年生との交流において反応がよくなかった交流方法と理由は何ですか（複数選択可）

1雑談

①上級生だけが話していたから

②話す内容が決まっていなかったから

③オンラインで話しづらかったから

④その他（自由記述）

2ご飯会

①上級生だけが話していたから
②話す内容が決まっていなかったから
③オンラインで話しづらかったから
④その他（自由記述）

3活動見学・紹介
①活動内容がオンラインでは理解してもらいにくいものだったから
②雰囲気を伝えられなかったから
③活動内容に興味を持ってもらえなかったから
④その他（自由記述）

4企画
①内容が充実していなかったから
②企画に部活やサークルの独自性がなかったから
③その企画がオンラインに向いていなかったから
④その他（自由記述）

5その他（自由記述）

6反応がよくなかった方法はない

11. 1 対面で 1 年生と交流しましたか　はい/いいえ

11.1 で[はい]と答えた方へ

11.1.1「10 月 1 日以前」に対面での新歓は行いましたか　はい/いいえ

11.1.1 で「はい」と答えた方へ

11.1.3 サークル内で対面新歓を行う際のルールなどは設けていたいましたか。
はい/いいえ

11.1.3 で「はい」と答えた方へ

11.1.4 具体的な内容について教えてください。(複数選択可)
①3 密を避けた活動の実施
②食事の禁止
③人数制限
④マスクの着用
⑤消毒の徹底
⑥体温の測定
⑦飲料ボトルなどの共用を行わない
⑥その他(人数制限の場合、具体的な人数などを記入してください)

11.1.5 対面新歓の回数はどのくらいでしたか（10 月 1 日以前）。

①0 回
②1，2 回
③3〜5 回
④6〜10 回
⑤それ以上

11.1.6 対面新歓に参加した人数は何人ですか。（10 月 1 日以前）

①0~5 人
②6~10 人
③11~15 人
④16~20 人
⑤それ以上

11.1.7 対面新歓で加入を宣言した新入生は何人いましたか。（10 月 1 日以前）

①0~5 人
②6~10 人
③11~15 人
④16~20 人
⑤それ以上

11.1.8 対面で 1 年生との交流において反応がよかった交流方法と理由は何ですか（複数選択可）

1雑談
①上級生が主体となって雑談を主導していたから
②1 年生が主体となって雑談を主導していたから
③話す内容が決まっていたから
④その他（自由記述）

2ご飯会
①上級生が主体となって雑談を主導していたから
②1 年生が主体となって雑談を主導していたから
③話す内容が決まっていたから
④その他（自由記述）

3活動見学・紹介
①活動内容を理解してもらえたから

②雰囲気を伝えられたから
③活動内容に興味を持ってもらえたから
④その他（自由記述）

4企画
①内容が充実していたから
②企画に部活やサークルの独自性があったから
③企画が対面に向いていたから
④その他（自由記述）
よろしければどのような企画を行ったか記述してください（自由記述）

5その他（自由記述）

6反応がよかった方法はない

11.1.9 対面で 1 年生との交流において反応がよくなかった交流方法と理由は何ですか（複数選択可）

1雑談
①上級生だけが話していたから
②上級生が主体となって雑談を主導しなかったから
③1 年生が主体となって雑談を主導しなかったから
③話す内容が決まっていなかったから
④その他（自由記述）

2ご飯会
①上級生だけが話していたから
②上級生が主体となって雑談を主導しなかったから
③1 年生が主体となって雑談を主導しなかったから
③話す内容が決まっていなかったから
④その他（自由記述）

3活動見学・紹介
①活動内容が理解してもらいにくいものだったから
②雰囲気を伝えられなかったから
③活動内容に興味を持ってもらえなかったから
④その他（自由記述）

4企画
①内容が充実していなかったから
②企画に部活やサークルの独自性がなかったから
③対面での設備では行いにくかったから
④その他（自由記述）

5その他（自由記述）
6反応がよくなかった方法はない

12.対面新歓とオンライン新歓ではどちらの方が効果があったように感じますか。
①対面新歓
②オンライン新歓
③どちらも変わらない

13.コロナ禍で例年の活動内容の変更を強いられた一方で、部やサークル全体に対し有意義だった面はありますか。（自由回答）

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

付録４　学生生活課へのヒアリングの流れ

①　10 月から申請した団体の課外活動が解禁されましたが、サークル活動を解禁した理由を教えてください。

②　活動自粛期間中、サークル・部活動から活動に関して問い合わせ・要望はありましたか？その中で新歓活動に関する問い合わせがございましたら、どのようなご対応をされたのか教えてください。

③　新入生からのサークルに関しての問い合わせの多さは例年と比べてどうだったかでしょうか。また、どのような問い合わせがございましたか？

④　大学としてサークル・部活動に対して自粛要請の一部緩和などは検討していただけましたでしょうか？また、実行に移すことができた、もしくは実行することがかなわなかった支援や、実行できなかった事情を教えてください。

⑤　活動再開願いを提出し、一度目は受理されなかった団体があると聞きました。何件再開願いが提出されて、受理された割合はどの程度であったのか教えてください。活動再開願いの中で受理していただけたものと受理していただけなかったものの間に明確な基準等はございましたらそちらもお教えください。

⑦　周辺住民からの苦情（公園で感染拡大防止には配慮せず部活をしているなど）はありましたか。

⑧　今後課外活動でクラスターが発生した場合のご対応など、今後の課外活動に対する方針について可能な範囲で教えてください。（感染が再拡大した場合、感染が一定の場合など）

⑨　大学側は.JP や各サークルがオンライン新歓を行っていたのをご存じでしたでしょうか。その行為を禁止する方針はございませんでしたか？